

当社取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要について

当社は、取締役会が適切に機能しているか検討し、その結果から明らかになった問題点の改善や強みの強化等に継続的に取り組むことで、取締役会全体の機能向上を図ることを目的に、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。

このたび、2022年度の分析・評価が完了しましたので、以下の通り、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 取締役会の実効性の評価の実施要領

項目	内容
実施方法	取締役に対する個別アンケートを実施しました。
対象者	2023年3月期決算発表時点での現任業務執行取締役(4名)
質問内容	以下の大項目に関して質問を行いました。 ① 取締役会の構成 ② 取締役会の運営状況 ③ 取締役会の議題 ④ 取締役会の役割・責務 ⑤ 環境変化に関する洞察 ⑥ 経営資源等の内部環境の理解 ⑦ 情報収集とリスクマネジメント ⑧ 外部のステークホルダーとの関わり
評価方法	対象者の回答内容をふまえ、独立社外取締役(2名)及び監査役(4名)から構成される評価・報酬協議会に、取締役会の実効性について諮問しました。その答申結果を受け、最終的に取締役会にて分析・評価を実施しました。

2. 評価結果の概要

「企業の成長に不可欠な業績とガバナンスの水準向上に加え、投資家が上場企業に求める様々な基準を見据えた議論ができるような体制を作っていくべく、また、取締役会の実効性を高め続けるべく、不断の努力を図る必要がある」との評価・報酬協議会の考えのもと、以下の項目を中心に答申が行われ、分析・評価を実施しました。

- 取締役候補者の指名
新たな取締役候補者の選出に際し、業務執行取締役の候補者選出に苦慮、または、候補者数が不足した場合など、社外取締役からも候補者を選出する事も一案と考えます。
- リスク、コンプライアンス体制
上場企業として、経営を取り巻く目まぐるしい環境変化に対応すべく、リスク、コンプライアンス及び財務に関連する情報、現場からの情報及び外部情報を素早く吸い上げる体制を更に拡充し、リスクコントロールや戦略的な経営に繋げていくことを期待します。
- 取締役会の構成
事業計画達成等を担当する営業担当取締役に加え、営業企画・開発についての担当役員の増強等、スキルマトリックスの整備を期待します。加えて、ジェンダーバランスを踏まえたメンバーの構成について、引き続き検討をする必要があると考えます。
- 社外取締役の役割
社外取締役による業務執行の監督が十分に果たされていない部分もあり、当社の中長期的な成長に貢献出来るように、取締役会で厳しく監視・監督すべきという社外取締役としての役割を再認識すべきであると考えます。

当社は、今回の取締役会の実効性評価の結果をふまえ、当社にとって最適なコーポレート・ガバナンス体制を構築すべく、引き続き検討を行ってまいります。

以上